

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	水源管理事業		コード	担当課係	水道工務課水源係
			01-01-08-01	担当者	岡崎 英二
事業実施期間			電話	66-9791	
総合計画 事業(政策)体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり			
	中項目	生活しやすいまちづくり			
	小項目	水資源開発と水利用			
	施策	水源の安定確保			

事業について	
目的	常に安定した安全な水を市民に供給できるよう、水資源の確保と水源施設の管理を行う。
対象 (誰のために)	備前市の上水道使用者
内容	浄水場施設維持管理(修繕及び草刈等) 取水権に対する負担金

事業の結果						
実施項目	17年度					
	回数など	(単位)	回数など	(単位)	回数など	(単位)
浄水場内外の草刈等	4	回				
岡山県広域水道運営経費等負担金	1	回				
吉井川坂根堰管理負担金	1	回				
八塔寺川ダム管理費等負担金	1	回				
水源施設維持修繕	3	回				
事業費 (単位:千円)	事業費	財源	事業費	財源	事業費	財源
	直接事業費 18,859	国県補助金等	直接事業費	国県補助金等	直接事業費	国県補助金等
	人件費 12,451	受益者負担 31,310	人件費	受益者負担	人件費	受益者負担
	合計 31,310	市債 0	合計 0	市債 0	合計 0	市債 0
必要人員	1.70	人				
結果指標①	結果指標名	浄水場内外の草刈等				
	結果指標量	4				
	単位	回				
	対前年比	—				
	事業費	772,000	円			
単位当たりコスト①	193,000	円				
結果指標②	結果指標名	水源施設維持修繕				
	結果指標量	3				
	単位	回				
	対前年比	—				
	事業費	519,750	円			
単位当たりコスト②	173,250	円				

事業の成果			
成果指標名	コスト削減率	式又は説明	委託回数を減らし、その分を職員で対応する。又、年々機器が古くなるが計画的に更新し、修繕費を減らす等、費用を減らす割合。
成果指標量	17年度 1,292,000円		
到達目標値	—	#VALUE!	
到達目標年度	20年度		

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である [関係法令等：水道法]
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

総合評価	
コメント	水質汚染が進む中、水質基準に適合した安全な水道水を使用者に供給するため、水源の確保は重要である。また、浄水場も常にきれいに維持するよう努力する。
評価区分	<A~E> B

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	4回	結果指標量②	2回
目標値	成果指標量 1,200,000円		

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	施設の統合	平成20年度~	水源の統合によりランニングコストの削減が図られる。
有効性	水源施設の老朽化の更新	平成20年度~	安全、安心な水の供給元となる水源の安全性が図られる。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

本事業は、水道法に基づき水源管理をしており、水資源の確保及び水道施設を常にきれいに保つよう浄水場の管理を行っており目的、対象内容は妥当である。

委託だけでなく、職員も草刈等を行い効率性の向上を目指していく。機器の更新を計画的に行い修繕費を減らす

職員も草刈等を行い、コスト削減に努めた。